

E-7

中国語の連合複数表現 “PN-men” と “PN tā-men” の差異についてのコーパス調査*

島健太 (東京大学大学院・修士課程)

kshima1138@gmail.com

【要旨】本発表は、コーパス調査に基づき、固有人名 (PN) を用いた現代中国語の2つの連合複数表現 *PN-men* と *PN tā-men* の違いを分析し、連合複数を表す場合に典型的だと捉えられているのは *PN tā-men* の方であり、さらに、*PN tā-men* を選好する傾向は年々強まっていることを明らかにする。具体的には、2つのPNのタイプ (“小/老 + <姓>”, “<姓> + 先生”) と *-men/tāmen* の結びつきをコーパスから収集し、*-men/tāmen* の選択に影響を与える要素を統計的に分析した結果、レジスターが新聞であることと年代が新しいことが *PN tāmen* を選好する要因であることが明らかになった。連合複数の意味を表すのに *PN-men* よりも *PN tā-men* を用いる方が典型的と捉えられており、*PN tā-men* を用いる方が典型的とみなしたうえでそれに沿う傾向は年代の推移とともに強まっているという実態から、接尾辞 *-men* の中心的機能は連合性 (associativity) を持たない均質な集団を表すことであって、連合性は周辺的にすぎないと主張する。

1. はじめに

中国語の複数接尾辞 *-men* (们) は固有人名 (以下 “PN”) につくと連合複数 (associative plural) を表す場合がある。

- (1) 四点多 了, 老刘们 都 没回来。
四時過ぎ SFP HON-劉-MEN 皆 NEG-帰ってくる
「四時過ぎになっても劉さんたちは誰も帰ってこない。」 (老舍《上任》)

連合表現は、名詞の指示対象とそれに関連する複数の成員からなる集団を表す (Corbett 2000: 101)。(1) では、“老刘” “劉さん” に *-men* が付加されることによって、“老刘” という人物と彼に関連する複数の人々からなる集団が表現されている。

中国語で連合複数を表す手段には、3人称複数の代名詞 *tā-men* (他们) がPNに後続する用法もある。*tā-men* は3人称単数の *tā* に *-men* がついた形式である。(2) では、“吴先生他们”、“小李他们” という集団にはそれぞれ “吴先生”、“小李” を含む2人以上の人々がいる。

- (2) 吴先生他们 常 爬 宝石山, 都 认识 小李他们 的。
吳-HON 3PL いつも 登る 宝石山 皆 知っている HON-李 3PL NMLZ
「吳氏たちはよく宝石山に登っていて、李くんたちのことも皆知っている。」 (《都市快讯》2003年)

本発表の提起する問題は、同様の機能を持つ2つの形式、つまり連合複数を表す *PN-men* と *PN tā-men* はどのように使い分けられているか、というものである。両形式は機能が同じというだけではなく、*-men* という共通の要素を含むため、これらの違いを明らかにすることにより、*-men* 全体の性質をより深く理解できる。

* 本発表の内容に関して小野秀樹、佐々木充文、鈴木唯、曹瑞、長屋尚典、吉田樹生の各氏から有益なアドバイスをいただいた (敬称略)。ここに深く感謝を述べる。

本発表は、コーパス調査に基づいて PN-men と PN tā-men の違いを分析し、連合複数を表す場合に典型的だと捉えられているのは PN tā-men の方であり、さらに、PN tā-men を選好する傾向は年々強まっていることを明らかにする。そのうえで、これらの傾向から、-men の中心的機能は均質な集団を表すことであって、連合性 (associativity) は周縁的にすぎないと主張する。

2. -men (们) の基本情報

本節は、-men の基本的な性質を紹介したうえで、(1) で挙げた連合複数を含む 2 つの異なる機能をもっていることを説明する。さらにそのことが -men 全体の分析に影響してきたことを述べる。

中国語の接尾辞 -men (们) は、人を表す名詞・人称代名詞などに随意的に後続し、複数ないし集合の意味を表す。無生物を表す名詞には後続できない。

- | | | | |
|------------|--------|-------|---------|
| (3) a. 孩子们 | b. 学生们 | c. 我们 | d. *桌子们 |
| 子供-MEN | 学生-MEN | 私-MEN | 机-MEN |
| 「子供たち」 | 「学生たち」 | 「私たち」 | |

一般名詞に後続する場合は、均質な (homogeneous) 集団を表す。一方、(1) のような連合複数を表す用法は“孩子们”等とは異なり、異成分からなる (heterogeneous) 集団を表す (Ueda and Haraguchi 2008)。(3)a-b の“孩子们/学生们”が表す集団には“孩子/学生”しか含まれないが、(1) において“老刘们”の表す集団は“老刘”と“老刘”ではない人々で構成されている¹。

注記しておく、PN-men という形式も「一般名詞-men」と同様に均質性に焦点を当てた意味を持つ場合がある。

- | | | | | | | | |
|--------|--|---------|------|-----------|----------|---------|----------|
| (4) a. | 想象 | 一下, | 再过 | 60年, | “梓睿”们 | 和 | “梓晴”们 |
| | 想像する | ちょっと | あと | 60年 | 「梓睿」-MEN | と | 「梓晴」-MEN |
| | 开始 | 一同 | 跳 | 广场舞, ... | | | |
| | 始める | 一斉に | 踊る | 広場舞 | | | |
| | 「想像してみてください、60年後「梓睿」たちと「梓晴」たちが一斉に広場舞を始めるのを...」 | | | | | | |
| | (《城市画报》2020年) | | | | | | |
| b. | 现代的 | 诸葛亮们 | 也 | 应 | 顺应 | 时代的 | |
| | 現代-NMLZ | 諸葛亮-MEN | も | べき | 順応する | 時代-NMLZ | |
| | 潮流 | 而 | 增强 | 现代意识, ... | | | |
| | 潮流 | そして | 増強する | 現代意識 | | | |
| | 「現代の諸葛亮たちも時代の潮流に順応し、現代意識を増強するべきであり、...」 | | | | | | |
| | (《人民日报》1987年) | | | | | | |

¹ (3)c のような人称代名詞につく場合は均質なのか異成分からなるのかという問題の分析は別稿に譲る。

(4)a の“梓睿”と“梓晴”は新生児につけられた名前として数年連続で一位のものであり（それぞれ男、女）、“梓睿（梓晴）们”は同じ名前を持つ人々を指している。特定の“梓睿”や“梓晴”は意識されていない。(4)b は“诸葛亮”の属性（＝賢く優秀）を共有する人々を比喩的に表しており、そもそも集団に“诸葛亮”本人は含まれない（張宜生 2001 で“比况义”「比况義」と呼ばれる用法）。

-men に2つの性質の異なる機能（均質読み、異質読み）がみられることは、-men を含む名詞は具体的な数量を表す語句によって修飾することができないこと（「3人の子供たち」を意図した“三个孩子们”は非文法的）などの他の重要な特徴とともに注目され、様々に統一的説明が試みられてきた。Iljic (1994) はここで連合複数と呼ぶ -men の意味を“collective reding”と呼び、-men 自体も集合標識と分析した。これに対して Li (1999) は -men は D の位置の要素に実現する（定性をも表す）複数標識であり、2つの意味は移動の仕方の違いで説明できるとした。Zhang (2008) は -men を連合複数標識と分析し、人間に限られることや定性がそれで説明できるとした。Jiang (2017) も -men を連合複数標識と分析したが、-men 自体の定性は否定した。

これらの分析は、PN-men に連合複数の解釈があることが前提になっているが、複数の二十代のコンサルタントから、PN-men はそもそも連合複数の意味では使えず、(4) のような意味を想起すると指摘され、連合複数の意味を表したいときは普通は PN tā-men を用いるとの指摘を受けた。一方で現代語コーパスでは連合複数の意味で用いられる PN-men は十分に観察される。PN tā-men は (4) のような均質な集団を表す用法はなく、連合複数の意味しか持たない専用の形式であるため、これと PN-men の使用の実態を比較することで、連合複数の意味を表す -men の動向が把握できる。

3. 調査方法

現代語コーパスを用いて PN-men と PN tā-men の用例を集め、後述する方法で各用例を分類し、統計的分析を施した。

調査に用いたのは北京语言大学汉语语料库 (BCC コーパス; <http://bcc.blcu.edu.cn>) である。150億字規模であり、新聞 (20億)、文学 (30億)、微博 (30億)、科技 (30億)、総合 (10億)、古漢語 (20億) などの領域を含む。各用例には題名、作者、出版時期などのメタ情報が付加されている。

検索の手順は以下の通りである。PN をそのまま検索することはできないため、PN を産出できるパターンを2通り用意した。パターンのイメージと実際の検索キーをそれぞれ示す。なお、BCC コーパスは一度に検索ボックスに入れられる文字数に制限があるため、実際には複数回に分けて検索する必要があり、以下の検索キーそのままでは検索できない。

(ア)

パターン	{小 or 老} + {王, 李, 张, ...向, or 常} + {们 or 他们}
検索キー	[小 老][王 李 张 刘 陈 杨 黄 赵 吴 周 徐 孙 马 朱 胡 郭 何 林 罗 高 郑 梁 谢 宋 唐 许 韩 邓 冯 曹 彭 曾 肖 田 董 潘 袁 蔡 蒋 余 于 杜 叶 程 魏 苏 吕 丁 任 卢 姚 沈 钟 姜 崔 谭 陆 范 汪 廖 石 金 韦 贾 夏 付 方 邹 熊 白 孟 秦 邱 侯 江 尹 薛 闫 段 雷 龙 黎 史 陶 贺 毛 郝 顾 龚 邵 万 覃 武 钱 戴 严 莫 孔 向 常][们 他们]

中国語では姓単独では呼称にならないため、姓に接頭辞 *xiǎo-* (小) もしくは *lǎo-* (老) を附加した形式で PN を作り、*-men* もしくは *tā-men* の後続する例を検索した。*xiǎo-* は年下・目下の人物に対する呼称を形成し、*lǎo-* は年上・目上の人物に対する呼称を形成する。姓は 2020 年の人口上位 100 姓を選んだ。すべて 1 字 1 音節である。

(イ)

パターン	{王, 李, 张, ...向, or 常} + 先生 (<i>xiānsheng</i>) + {们 or 他们}
検索キー	[王 李 张 刘 陈 杨 黄 赵 吴 周 徐 孙 马 朱 胡 郭 何 林 罗 高 郑 梁 谢 宋 唐 许 韩 邓 冯 曹 彭 曾 肖 田 董 潘 袁 蔡 蒋 余 于 杜 叶 程 魏 苏 吕 丁 任 卢 姚 沈 钟 姜 崔 谭 陆 范 汪 廖 石 金 韦 贾 夏 付 方 邹 熊 白 孟 秦 邱 侯 江 尹 薛 闫 段 雷 龙 黎 史 陶 贺 毛 郝 顾 龚 邵 万 覃 武 钱 戴 严 莫 孔 向 常] 先生[们 他们]

姓に「～氏」を表す *xiānsheng* (先生) を後続させて丁寧な呼称を形成するパターンに *-men* もしくは *tā-men* の後続する例を検索した。

次に、検索した用例を以下の 6 つの基準で分類した。

表 1: 分類基準

分類基準	内容	基準に選んだ理由
① タイプ	上記の (ア) タイプか (イ) タイプか	PN のタイプが影響するかもしれない。
② レジスター	各用例の属するジャンル。文学、新聞、科技、ウェブ (微博) など。	文体の問題かもしれない。
③ タイトル	各用例の収録されている作品。	個人によるかもしれない。
④ 作者	各用例の作者。	
⑤ 年	各用例の発表年。	経時的な変化かもしれない。
⑥ 文中に現れる位置	各用例が主語か目的語かなど。	細かな文法的違いがあるかもしれない。

最後に、上記の各基準が *PN-men* と *PN tā-men* の使い分けに対して効果を持っているか (逆にいうと *PN-men* と *PN tā-men* の用例において各基準に偏りは見られるか) を統計ソフト R を用いて統計的に分析した。具体的には、各用例が *PN-men* と *PN tā-men* のどちらであるかを応答変数とし、各基準を予測変数とする多重ロジスティック回帰分析を行った。

4. 調査結果

まず、*PN-men* と *PN tā-men* のどちらであるかと、分類基準 ①タイプ、②レジスター、⑥文中に現れる位置 の値ごとの用例数をまとめたクロス集計表を示す。

表 2: タイプ

	小/老	先生	合計
PN-men	98	68	166
PN tā-men	252	15	267
合計	350	83	433

表 3: レジスター

	文学	新聞	科技	ウェブ	合計
PN-men	138	8	6	14	166
PN tā-men	168	61	13	25	267
合計	306	69	19	39	433

表 4: 文中の位置

	PN-men	PN tā-men	合計
主語	100	163	263
動詞の目的語	17	32	49
“把”を用いた使 役構文の目的語	1	1	2
前置詞の目的語	8	23	31
コピュラ “是” の 目的語	0	2	2
連体修飾語	22	25	47
被修飾語	12	2	14
等位接続	2	6	8
同格関係	4	13	17
合計	166	267	433

③タイトル と ④作者 はそれぞれ多岐にわたるため、ここでは数は示せないが、作品や作者ごとにどちらかを専用する場合が多かった。一方で、同じタイトルや作者が PN-men と PN tā-men を両方使っている場合も複数あった。具体的には、刘定坚の《刀剑笑》と马烽・西戎の《吕梁英雄传》において、それぞれ同じ登場人物を代表とする集団について PN-men と PN tā-men の両方の表現が見られた。それぞれの作品中での使い分けの要因は不明である。少なくとも文中の位置の偏りはなさそうだった。

PN-men と PN tā-men のどちらであるかと ⑤年号 の関係を以下の図 1 に示す。各ドットが一つの用例に対応する。下に並ぶドットは PN-men の用例を表し、上に並ぶドットは PN tā-men の用例を表す。横軸は年号である。



図 1: 年

それぞれの基準が結果 (PN-men と PN tā-men のどちらであるか) に対して影響を与えているかを知るために一般化線形モデル関数 `glm()` を用いて二項ロジスティック回帰分析を行った。具体的な式は図 2 の通りである。

```
glm(output ~ type + register + year + distribution,
     data = men, family = 'binomial')
```

図 2: 式

“output ~ type + register + year + distribution” は PN-men と PN tā-men のどちらであるか (output) を応答変数とし、①タイプ (type)、②レジスター (register)、⑤年号 (year)、⑥文中の位置 (distribution) を予測変数としてモデルに当てはめる²という意味であり、“data = men” は全用例をまとめたデータフレームである men を分析に用いるという指定である。“family = 'binomial'” は残差が二項分布に従うと想定するよう指定している。

その結果、応答変数に対して有意な (有意水準 0.05 を下回る) 効果を示したのは、①タイプ、②レジスター、⑤年号 だった。具体的には、(イ) の“先生”タイプなら PN-men の傾向が強く ($p < 0.01$)、新聞なら PN tā-men の傾向が強く ($p < 0.01$)、年号が新しければ PN tā-men の傾向が強かった ($p = 0.03$)。しかし、“先生”タイプに PN-men が多いことは、一作品の用例が多数ヒットした ((イ) タイプの 83 例中 55 例が張遠山《通天塔》に含まれる“王先生们”「王さんたち」だった) ことに影響されているとみられ、正確な効果は疑わしい。

5. 結果の分析

5.1. 結果の解釈

前節では、PN-men よりも PN tā-men を使う傾向にあるのは、レジスターが新聞である場合と、年代が新しい場合であることが分かった。また、作品や作者によってどちらかを専用する傾向が強い。

² ③タイトル と ④作者 はほとんどの場合、応答変数を 100% 確定してしまうので、回帰分析に含める意味がない。

新聞で PN *tā-men* が選好されることから、連合複数の意味を表すのに PN-*men* よりも PN *tā-men* を用いる方が典型的と捉えられているとわかる。さらに、新しい年代で PN *tā-men* を用いる傾向が強いことから、PN *tā-men* を用いる方が典型的とみなしたうえでそれに沿う傾向は年代の推移とともに強まっていることも指摘できる。第 2 節で述べた若いコンサルタントの指摘を裏付ける結論である。作品や作者によってどちらかを専用する傾向が強いことは、両用法の使い分けが文法的条件ではなく話者の選好性に依存することを示しており、レジスターや年代によって使い方が異なるという状況に符合する。

5.2. 理論的意義

これらの結果に基づき、以下のことを議論する。まず、-*men* 全体の性質についての研究に対して意義がある。連合複数の意味を表す PN-*men* が典型的でなく、衰退傾向にあるとすれば、接尾辞 -*men* 自体の性質として連合複数の機能を中核に据える Zhang (2008) や Jiang (2017) などの分析は再考を迫られる。-*men* が第一に喚起するのは、つく先が PN であっても、(4) のように成員を均質に捉える意味であり、連合性は周辺的な特徴にすぎないといえる。認知的にアクセスしやすい PN に後続してすら文脈の助けを借りなければ連合性を表せないとすれば、-*men* の中心的機能として連合複数を取り上げるのは無理があり、それに基づいた分析も成り立たない。

さらに、類型論的意義も大きい。Corbett (2000) は連合性 (associativity) は数とは異なるカテゴリーであると主張する。中国語においても両者を異なる形式で表す傾向が強いのであれば、Corbett (2000) の主張を積極的に支持する事例の 1 つとなる。

略号一覧

HON-honorific, NEG-negation, NMLZ-nominalizer, SFP-sentence final particle, PL-plural, PN-proper name

参考文献

- Corbett, Greville G. 2000. *Number (Cambridge Textbooks in Linguistics)*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Iljic, Robert. 1994. "Quantification in Mandarin Chinese: Two Markers of Plurality." *Linguistics* 32: 91–116.
- Jiang, Li Julie. 2017. "Mandarin Associative Plural -Men and NPs with -Men." *International Journal of Chinese Linguistics* 4(2): 191–256.
- Li, Yen-Hui Audrey. 1999. "Plurality in a Classifier Language." *Journal of East Asian Linguistics* 8(1): 75–99.
- Ueda, Yasuki, and Tomoko Haraguchi. 2008. "Plurality in Japanese and Chinese." *Nanzan Linguistics: Special Issue* 2(3): 229–242.
- Zhang, Xiaofei. 2008. "Chinese -Men and Associative Plurals." *Toronto Working Papers in Linguistics* 28: 407–25.
- 荀恩东, 饶高琦, 肖晓悦, 臧娇娇. "大数据背景下 BCC 语料库的研制." *语料库语言学* 2016(1).
- 张谊生. 2001. "'N'+ '们' 的选择限制与 'N 们' 的表义功用." *中国语文* 2001(3): 201–11.
- 中華人民共和国中央人民政府. 2021. "二〇二〇年全国姓名报告", URL: http://www.gov.cn/xinwen/2021-02/08/content_5585906.htm

使用したコーパス

北京语言大学汉语语料库 (BCC コーパス; <http://bcc.blcu.edu.cn>)